

Agenda

- ・はじめに . . . 有馬
- ・あかね台自治会 理念 . . . 有馬
- ・ロードマップ . . . 伊東
- ・役員の負荷軽減 . . . 伊東
- ・特出し
 - ①地域の安全・保全について . . . 有馬
 - ②コミュニティバスの運営 . . . 有馬
 - ③関連団体との連携強化、後継者づくり . . . 伊東
- ・25年度 体制図 . . . 伊東
- ・質疑応答 30min

自治会とは何か

あかね台自治会規定集：

✓ 自治会の役割は、第1に「地域の安全・保全」「社会福祉」 第2に「相互会員の親睦」

伊勢原市HP：

<https://www.city.isehara.kanagawa.jp/docs/2014070100032/>

自治会とは、一定の区域の住民が地域の課題を解決し、互いに支え合い、住みよいまちづくりを進めていくために自主的に組織された住民組織で、その区域に住む人なら誰でも加入できる任意の組織です。

各自治会では、さまざまな親睦行事を通して連帯意識を深めたり、地域の生活環境の向上、健康づくりや福祉活動、安全で安心なまちづくりのための防犯パトロール活動、自主防災活動などに取り組んでいます。

• 支えあうまち

ごみなどの環境問題、地域防災、防犯等について、地域で力を合わせ、安全で安心に暮らせる、住みよいまちをめざします。



(地域活動の例)

1. ごみ・資源物集積場所の管理
2. 防犯パトロール
3. 自主防災活動
4. 集会施設等の維持管理

• ふれあうまち

地域の方々が、ふれあい、お互いが協力し合い、さまざまな活動に参加し、地域で健康で、明るく、いきいき暮らせるまちをめざします。



(地域活動の例)

1. 体育祭、文化祭、盆踊りや地域のまつりなど交流事業の実施
2. 子ども会や老人クラブ、青少年健全育成関連団体など、各種団体活動への支援
3. 自治会だよりなどの会報紙の発行
4. 共同募金等への協力

• 共有するまち

自治会や市からの暮らしに必要な情報を回覧などにより提供したり、地域の問題・課題解決に向け、市へ要望するなど、市民協働を進めるまちをめざします。



(地域活動の例)

1. チラシ(印刷物)の戸別配布・回覧物の回覧
2. 広報板の管理
3. 総会・定例会・役員会などの開催
4. 地域課題・要望のとりまとめ

理念の作成にあたって

近年自治会の活動は高齢化が進み、担い手不足から活動自体縮小していくことが余儀なくされており、活動を持続していくために様々な課題に直面しています。

加入低下率 全体平均で約7%
※令和4年時点

- 主な理由
 - ・運営や活動が社会の変化やニーズにマッチしていない
 - ・役をやりたくない。メリットが感じられない等。

●課題
地域の安全や元気を担う、自治会の加入率が全国的に低下。

市区町村が把握している自治会の加入率の推移

回答：624市区町村

規模別の区分	2010年	2020年	平均増減率	増減幅最小	増減幅最大
人口50万人以上 (指定都市)	77.2%	70.3%	▲6.9%	▲0.9%	▲11.3%
人口50万人以上 (指定都市以外)	64.4%	57.9%	▲6.5%	▲1.3%	▲10.2%
人口30万人以上 50万人未満	73.6%	66.3%	▲7.3%	+0.6%	▲13.1%
人口20万人以上 30万人未満	72.1%	64.5%	▲7.6%	▲1.0%	▲13.5%
人口10万人以上 20万人未満	70.8%	63.9%	▲6.9%	+26.2%	▲19.1%
人口5万人以上 10万人未満	74.0%	66.6%	▲7.4%	+5.2%	▲19.3%
人口1万人以上 5万人未満	80.8%	74.2%	▲6.6%	+8.0%	▲23.7%
人口1万人未満	91.7%	88.6%	▲3.1%	+2.2%	▲14.7%

出典：総務省「自治会等に関する市区町村の取組についてのアンケートとりまとめ結果」（令和4年4月）並びに「地域コミュニティに関する研究会」第3回資料1「自治会・町内会の活動の持続可能性について」より筆者が作成

想い

この1年の自治会活動を通して
地域の本来持つ、結束力をイベント毎に感じており、
街の活性化は自治会の活動次第で大きく変わると感じています。

私達が住んでいる街が治安も良く綺麗に住みやすい環境が保たれているのは、
住んでいる街のことを想い、少しでも街が良くなるように、
陰ながら活動している方々が街を支えてくださっています。
そんな素晴らしい伝統的な風土を風化させたくないという想いです。

2024成瀬地区体育祭 総合優勝



2024夏祭り 盆踊り



自治会vision

世代を問わず笑顔が溢れ、『この街が好き』『この街に住みたい』と思える
地域コミュニティにする



『あかね台自治会』の理念

Vision

私たちが目指している世界

世代を問わず笑顔が溢れ、

『この街が好き』『この街に住みたい』と思える地域コミュニティにする

Mission

私たちが実行すべきこと

①新時代に合わせ変革し持続可能な自治会にする

②誰もが参加したいと思える安心の自治会にする（世代問わず家族でも気軽に参加できる）

③今まで先輩方が築きあげた良い風土を継承する

Method

私たちの方法・方式

※毎年度更新

◆来年度から実運用◆

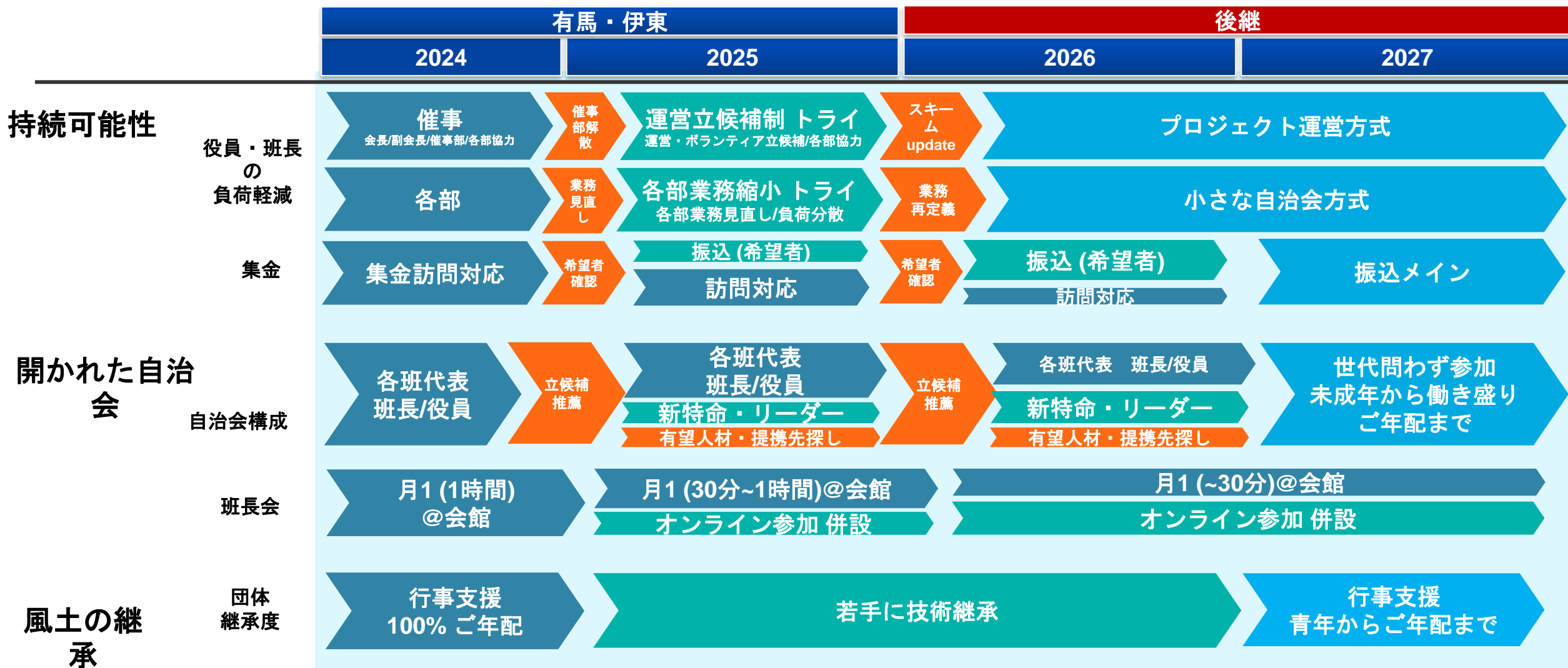
①・業務の最小化と負担軽減・自治会運営のハードルを下げる
班の再編成、組織改正、役員や班長業務の見直し
・事業により財源を確保し外注化することで自治会運営の負担軽減
・コミュニティバスの運用開始（地域のつながりを活性化）

②・役員選出は推薦や立候補制。
・役員に報酬制度の導入
・行催事の企画運営には実行委員会形式を採用。幅広く人材を募る。
・部長会はオンライン開催。月に1回の班長会は誰もが参加可能。

③・催事や防災防犯活動は継承。継続していく仕組みの構築。

ロードマップ

役員・班長の負荷軽減とスリム化を徹底的に進めつつ、
人材雇用の多様化を進め、地域コミュニティの活性化と自治会運営を両立させていく



ロードマップ

役員・班長の負荷軽減とスリム化を徹底的に進めつつ、
人材雇用の多様化を進め、地域コミュニティの活性化と自治会運営を両立させていく



持続可能性：役員負荷軽減

「通年で色々活動が発生するので、班長や役員の任命は荷が重い・・・」

「折角の休みが、自治会活動で潰れる・・・」

「班長会 土曜日18時に、出るように言われる・・・ 主婦は忙しい時間・・・」

「催事イベントがたくさんあって、ボランティアに駆り出される・・・」

「町内のトラブルなど、色々ややこしい話に巻き込まれていく・・・」

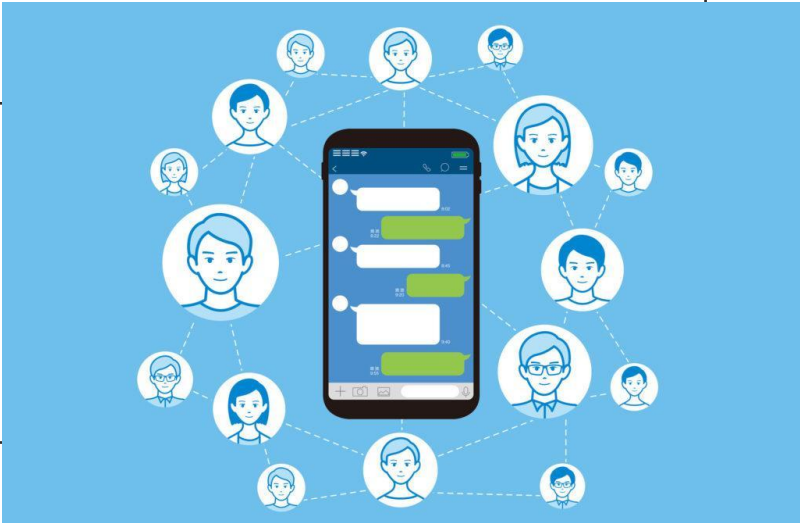


ポジティブ・メリット感（地域貢献感、責任感、コミュニティ醸成、情報有益など）**に対し**
ネガティブ・デメリット感（割に合わない、価値観にそぐわないなど）**が遥かに大きい**

自治会は重くない と実感してもらうことが まず必要


役員負荷軽減①

まずは出来ることから確実に。

役員業務	軽減案	補足
班長会 年12回参加 土曜18時～@自治会館	①会議 <u>30min</u> 厳守 ②会議設定タイミング <u>見直し</u> アンケート確認します ③ <u>オンライン会議</u> 併設 希望者はそちらの参加でOK 動画撮影し、後で確認可（欠席者）	80歳以上 班長免除を検討 希望される方に IT環境設営のサポートを検討 会館に来られなかった班長に 回覧物を効率的に渡す必要あり
回覧物の配布と回収	ー ※現時点はこのまま	
催事ボランティア	ボランティア/有志の積極募集と採用 イベント準備 効率化（LINE活用） イベント内容 選択と集中 ※議論から	
集金	<u>自動引き落とし</u> 、 <u>振込</u> 対応（希望者）	

役員負荷軽減②

まずは出来ることから確実に。

役員業務	軽減案	補足
<p>例 総務 (<u>7名</u>) 回覧物準備、集金集計 受付、書記</p> <p>最終的に<u>2-3名</u>を目指す</p>	<p>回覧物準備 ・ ・ 班長で分担 (輪番) 徐々に<u>ペーパーレス</u> へ</p> <p>集金集計 ・ ・ <u>自動引き落とし/振込</u>を進め 口座集計できるように していく</p> <p>書記 ・ ・ <u>自動化</u> (発行前に修正確認)</p>	<p>希望される方に IT環境設営のサポートを検討</p> 
<p>例 会館運営 (<u>10名</u>) 3週に1回清掃 会館予約 毎週木曜</p> <p>最終的に<u>2-3名</u>を目指す</p>	<p>清掃 ・ ・ <u>アルバイト</u>の活用</p> <p>会館予約 ・ ・ <u>オンライン化</u> ※ペーパー予約も残す</p>	<p>希望される方に IT環境設営のサポートを検討</p>

役員負荷軽減③



みんなが参加しやすい自治会に。
運営のデジタル化に
LINE WORKSを選んだ理由とは。

- ✓ 個人情報の開示が一切いらない
プライベートで使うLINEと分けて使える
- ✓ トーク機能、ファイル共有、設備予約（カレンダー）
- ✓ みんながいるグループトークで「見える化」
業務内容が共有でき負荷分散
- ✓ 「班長が退任してもLINE WORKSに残ってもらい、
途切れない緩やかな関係を作っている」

みんなが参加しやすい自治会に。運営のデジタル化にLINE WORKSを選んだ理由
[/note.com/lineworks/n/neb71da71e658](https://note.com/lineworks/n/neb71da71e658)



LINEと同じような
使いやすさで、
無料通話にも対応



モバイルでの
利用に最適化

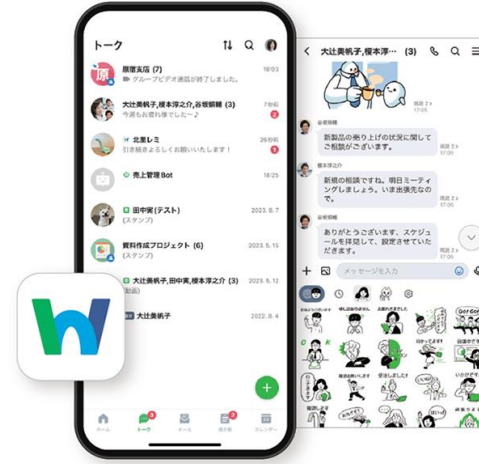


トークやメールと
スムーズに連携



チーム全体への情報
共有や周知に便利

管理とセキュリティ機能
メンバーや組織の管理、パスワード
強制や遠隔データ削除など、充実に
した管理とセキュリティ機能



監査ログ機能
トークを含め全ての機能に対して
ログを保管する監査ログ機能

アーカイブ機能
トークとメールの送受信履歴を
添付ファイルも含めて最大10年間
保管できるアーカイブ機能



階層型組織表現や
兼務など日本の
企業文化に対応



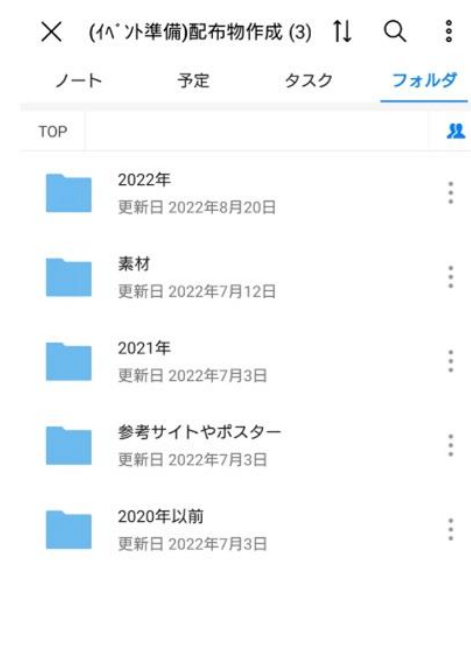
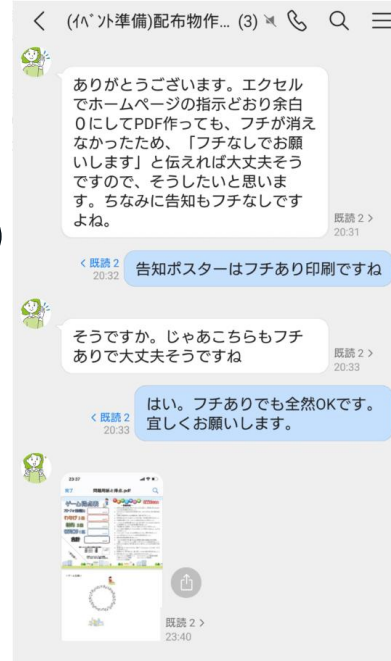
トークでのファイル
共有も簡単・安全



やるべき業務の
進行状況を把握



様々なアンケートを
テンプレートで簡単に
作成



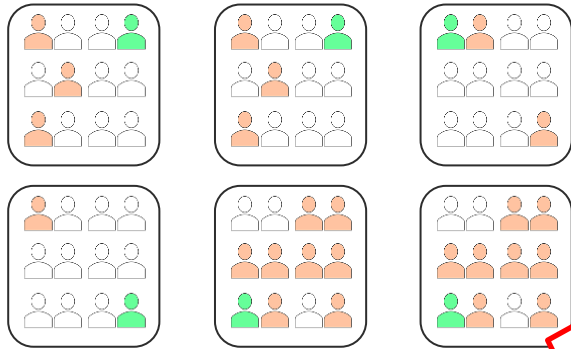
役員負荷軽減④

最終的には、班長は回覧受け取りのみ 有志リーダーで運営を回す（小さい運営へ）

現行 班長制度

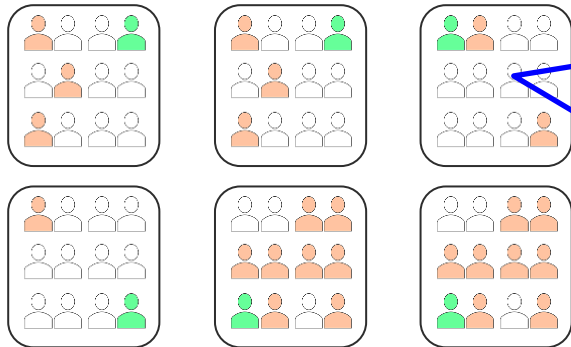
 班長・・・任期1年

 ご年配の方・・・班長固辞の傾向



×班長が決まらない(高頻度で再任)
×班長/役員回避から、自治会を辞退
→班長/役員ワークの負荷に対する
忌避
(役員兼任、催事関係、集金、..)

自治会活動
班長会

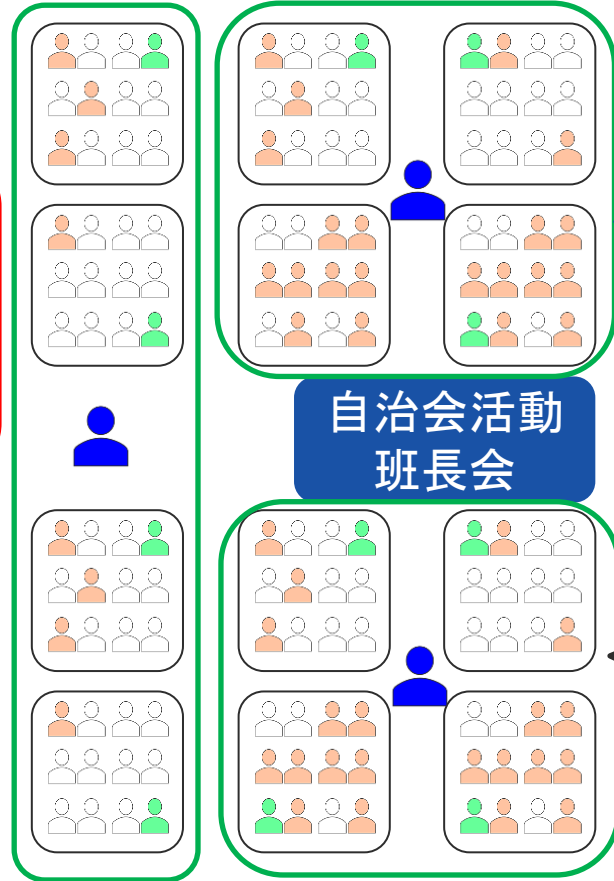


○班内のことは、
班長に相談
(距離の近さ)

将来

 拠点リーダー・・・立候補、報酬制、任期無し

 班代表・・・各班の回覧受け取りのみ



○班長自体が不要
自治会参加への安心感

自治会活動
班長会

班内の相談
→拠点リーダーや、
自治会にダイレクトへ

Agenda

- ・はじめに
- ・あかね台自治会 理念
- ・ロードマップ
- ・役員の負荷軽減
- ・特出し
 - ①地域の安全・保全について . . . 有馬
 - ②コミュニティバスの運営 . . . 有馬
 - ③関連団体との連携強化、後継者づくり . . . 伊東
- ・25年度 体制図 . . . 伊東
- ・質疑応答 30min

地域の安全・保全について（防犯・防災）

自主防災組織とは

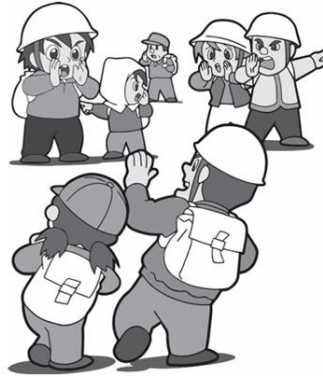
1. 地域住民が「**自分たちの地域は自分たちで守る**」という意識に基づき自主的に結成する防災組織

⇒「住民の隣保協同の精神に基づく自発的な防災組織」(災対法第5条第2項)

2. 公権力はない(住民の避難については自主的な活動)

3. 自分たちの住む町内会等で活動するのが原則

- ① 大規模災害時等に自分達の地域の火災、救助に対応
- ② 簡単な消火、救助活動に従事
- ③ 訓練・装備は初期対応中心
- ④ 地域のリーダーのもと活動



4. 法令根拠

○災害対策基本法：第5条第2項(市町村の責務)、第7条第2項(住民等の責務)、第8条第2項第13号(施策における防災上の配慮等)

○消防組織法：第4条第2項第27号(消防庁の任務及び所掌事務)、第52条第2項(教育訓練の機会)

※ このほか、大規模地震対策特別措置法、国民保護法にも規定あり。

●自治会役員・班長・拠点リーダーの役割を再定義

●民生委員さんとの連携

有事の際の対応を明確化

→ 規定やマニュアルの改定

① 要介護者安否確認訓練	白銀地区自主防災会と民生委員が協力して、要介護者宅を訪問して安否確認を実施する
② 避難誘導訓練	大地震を想定しての避難誘導の広報を実施。その後、集合場所から指定避難所への避難を実施する
③ 消火訓練	「オイルバン」に点火し、水槽からバケツリレーで水を運び、消火を実施する
④ 救急処置訓練	AED 操作手順、心肺蘇生術を習得する
⑤ 応急担架作成訓練	身近にある棒2本、毛布または衣類を使用して、応急担架の作成方法を習得する。作成した応急担架を利用して、傷病者を搬送する
⑥ 起震車体験	震度6までの揺れを体験する
⑦ 濃煙体験	テント内で濃い煙への対処方法を体験・訓練する
⑧ 防災物品の展示・体験訓練	白銀地区自主防災会が保管する防災物品の組み立て、稼働方法を体験する 発電機及び投光器の取り扱いを訓練する
⑨ 炊き出し訓練	婦人会や民生委員と連携して、おにぎり250個を調理する

コミュニティバスについて

運転手が見つかりました！
まずは1カ月に1回～
試行していきます。4月よりスタート



会社・社会の現状

あかね台地区は成瀬地区の中でも特に高齢化が著しい地区であり、要介護支援者数は成瀬地区で最多となっています。
近年、買い物や通院など公共のバスでは乗り継ぎが必要となる場所に、直接行くことのできる手段が欲しいと多数要望があるのが現状。

事業概要

業種 / 事業名

地域コミュニティバスの運用

事業の開始予定

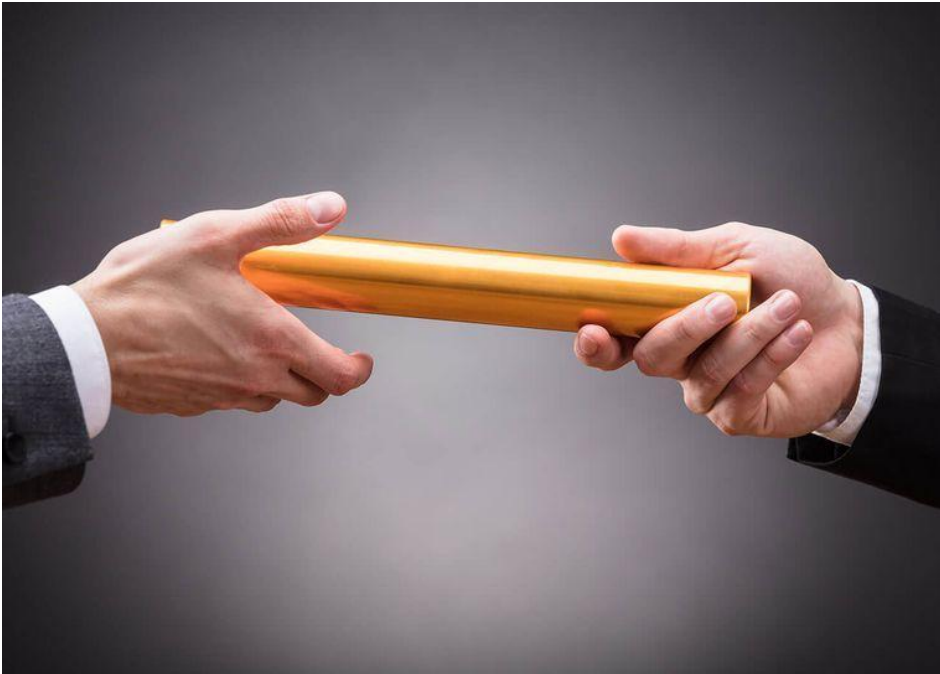
2025年4月～試行 7月～8月本格運用

事業の詳細

あかね台地区コミュニティバスの運用
頻度：1週間に1回～2回
場所：スーパー、病院、市役所、各要望に合わせて
運用方法：個人宅前送迎
1回300円（往復）
バスについて
→ 高森荘より10人乗りワゴン貸出（無償）
※ガソリン、保険保障
完全予約制（自治会管理）
運用における運賃は運転手および補助者の報酬とする。

関連団体との連携強化、後継者づくり

継承が必要な部分を、若手が直接学び、更にバトンパスしていく



行事支援

若手が直接 団体に参加し、学ぶ
引継ぎしやすいよう、
学んだことを体系化、マニュアル化
(動画も作成)

- ✓竹林伐採
- ✓各行事支援
- ✓やぐら立て、テント立て
- ✓どんど焼き

25年度 体制図

2025年度 あかね台自治会役員候補（案）

会長	10班	有馬 真司
副会長	7班	伊東 恭佑
副会長	16/17班	玉井 侃太
特命（防災）	2班	細川 定勇
特命（防災）	23班	吉田 道男
特命（防災）	41班	山田 顯能
特命（会館防火管理）	16/17班	米澤 茂美

※特命・・・特命副会長

企画部長	15班	大久保 智宏	交通防犯部長	14班	西山 裕美
総務部長	23班	永松 恵美子	会館運営部長	11/12班	梅澤 英夫
広報部長	43班	後藤 裕司	会計	36班	山田 絢子
防火防災部長	4班	望月 雄大	会計	52班	三溝 和男
環境衛生部長	35班	伊藤 都子	監事	42班	枅川 博史

他 班長41名